

第3学年 国語科「まとまりをとらえて読み、かんそうを話そう」(全9時間)

「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」(光村図書・三年上)

指導のねらい

- ・目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。
- ・文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。

単元の実際

自分がつくりたいこまの紹介文を書き、発表会で感想を伝え合う。

第1次 学習の見直しをもつ。

① 学習のねらいや単元全体の流れを確認する。

- ◇「言葉で遊ぼう」「こまを楽しむ」の二つの教材文を読み、学習のねらいと流れを知り、見直しをもつ。
- ・こまの実物を紹介し、興味・関心が高まるようにする。また、図書の時間に「びゅんびゅんごまがまわったら」を読み聞かせ、総合や学活の時間に全員でびゅんびゅんごままで遊ぶ活動を取り入れる。

②③ まとまりに気をつけて「言葉で遊ぼう」を読む。

- ◇「段落」について知り、「言葉で遊ぼう」の「はじめ」「なか」「終わり」を見つける。
- ・形式段落(文章のなかにあるいくつかの小さなまとまり)について教え、それをもとに文章全体を三部構成で捉えることで内容のあらましをおさえさせる。
- ◇「言葉で遊ぼう」の事例を捉え、感想をもつ。
- ・「問い」に対応する「答え」を見つけさせることで段落の内容が「言葉遊びの名前」「言葉遊びの楽しみ方」になっていることに気付かせ、文章全体についての感想も交流させる。

第2次 「こまを楽しむ」を読み、紹介文の書き方を学ぶ。

④⑤ 「こまを楽しむ」を読んで内容を捉える。

- ◇「こまを楽しむ」を通読し内容の大体を捉える。
- ・「はじめ」「なか」「終わり」のまとまりを考えることで全文の大体を捉えさせる。
- ◇「こまを楽しむ」の事例を捉え感想をもつ。
- ・第1次と同じように「問い」と「答え」に着目し、段落の内容を捉えさせる。

⑥ 事例段落の文章構成を捉える。

- ◇事例段落の「なか」の文章構成を捉える。
- ・挿絵(写真)と段落の内容を対応させ内容を読み取り、事例にあたる各段落の文章構成が似た形になっていることに気付かせる。

⑦ 文章構成に気をつけて、びゅんびゅんごまの楽しさを紹介する文を書く。

- ◇前時の学習をもとに、びゅんびゅんごまの紹介文を書く。
- ・前時に捉えた文章構成を活かして、これまで遊んできたびゅんびゅんごまの楽しさを紹介文に表現させる。

2ページ参照

第3次 自分がつくりたいこまの紹介文を書き、発表会をする。

⑧ 自分がつくりたいこまの紹介文を書く。

- ◇これまでの学習をもとに、自分が一番つくりたいこまの紹介文を書く。
- ・前時の学習を参考に、文章構成を考えながら表現させる。

⑨ 紹介文の発表会をし、感想を伝え合う。

- ◇完成した紹介文を互いに読み合い感想を交流する。
- ・いくつかの文を全体でも紹介し、お互いの感じ方や考え方の違いに気付かせる。

◇ 主体的・対話的で深い学びの過程を実現する工夫

⑦ 文章構成に気をつけて、びゅんびゅんごまの楽しさを紹介する文を書く

授業の実際

☆前時までの学習から本時のめあてを確認する。

◇びゅんびゅんごまの紹介文を書こう。

- ・これまで、びゅんびゅんごまの本を読み聞かせ、自分たちでこまを作り、いろいろな回し方をして友達と楽しんできた。これらの共通体験を基に、「楽しかったことをお家の人に報告しよう」と呼びかけることで、「こまを楽しむ」の本文の構成を活用しながら、文章に書くという活動の必然性が生まれた。

びゅんびゅんごまをしょうかいする文を書こう。

☆構成に気をつけて紹介文を書く。

◇紹介文の書き出しを考えよう。

- ・板書に「段落」内の構成を分かりやすく色分けしたものを提示し、文章の構成を意識させる。
- ・「びゅんびゅんごまは～を楽しむこまです。」の句型を提示し、書き出しの一文を考えさせる。

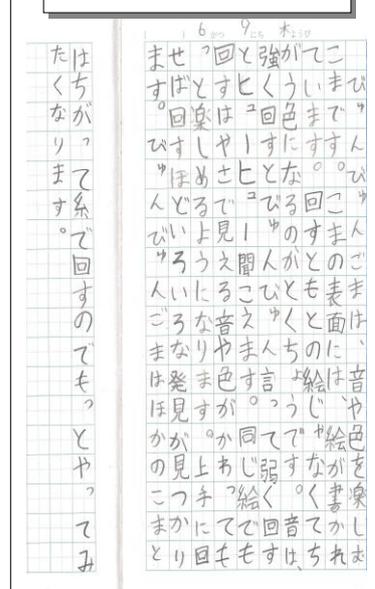
◇本文の述べ方を真似て、びゅんびゅんごまの楽しさを紹介文に書こう。

- ・二文目からは、「びゅんびゅんごまは、どんなこまか（形状）」と「どんな楽しみ方があるか」などを例示し、一番楽しかったことから書くようにさせる。

- ・支援の必要な児童には、個別に（構成の型を示した）ワークシートを渡す。



びゅんびゅんごまの紹介文



☆紹介文の交流をする。

◇紹介文を読み合い感想を伝え合おう。

- ・文章をペアで読み合い、感想を伝え合わせる。
- ・机間指導で教師が見取った数編の児童の紹介文を、全体の場でも発表させ感想を交流させる。

☆本時のまとめをする。

◇学習の振り返りをしよう。

- ・交流の場でも出された感想を板書し、お互いの感想の相違に気付かせる。
- ・本時の学習で学んだ自分の楽しかったことを表現する楽しさや、文章化するための技能活用のよさを振り返らせることで、次時の課題「自分がつくりたいこまについて書こう」へ児童の思考をつなげていく。

【保護者からの感想（学級通信の返信より）】

びゅんびゅんごまの紹介文を聞いて、回転が速くなるにつれて色や形が変化することがわかりました。「名前の通りびゅんびゅん鳴るので一回聞いたら、もう一回聞きたくなります」という説明を聞いて、すごくわくわくして音を聞きたい気持ちになりました。色や形、音などをイメージがふくらむ紹介文で、とても上手にかけていました。

【本時の振り返り】
友だちは、ませた色のこま書いていました。回し方も、いろいろな回し方ができることが書いていました。
びゅんびゅんごまを持って帰って、文を話すのが楽しみになりました。友だちは、わたしが書いていないこまも書いていました。